

研究構想シート	学校名	安来市立伯太中学校
	氏名	玉木奈津子
A 研究主題 自ら学ぶ生徒の育成～「自律」を促すしかけづくりを通して		
B 研究の目的 自己を調整し、主体的に行動し、他者と協同する力、言語や情報を使いこなす力を身につけた生徒の育成		
C 子どもの実態 ○学習状況 ・学習態度は良好だが、家庭学習の習慣が十分形成させていない。 ・国数英とも県・市の平均より正答率が低い。 ・学習内容の定着に関して、二極化傾向が見られる。 ・読解力、表現力及び表現する意欲が低い。 ・タブレット端末の使用に慣れている。 ・特別支援学級在籍生徒と通級指導を受けている生徒が全校の1割を超える。 ○生活態度 ・多くの生徒が素直で礼儀をわきまえており、落ち着いた態度でまじめに生活している。 ・人をからかうなどの行為があったときに、注意したり、教師に知らせたりする生徒は少ない。 ○家庭生活 ・体育の授業以外で運動する習慣のない生徒がおり、体力や運動能力は県平均より低い。 ・生活習慣は概ね良好だが、ゲームなどの娯楽時間が多い生徒がいる。 ・多くの生徒が交通ルールを守って安全に登下校している。 ○ ・将来の夢や目標をもっている生徒は6割程度である。 ・地域への愛着をもっている生徒が8割以上いる。	E 手立て・内容(研究仮説) ①セルフPDCAの推進を図るしかけを充実させることで、自己を調整する力が高まる。 ○「新しい1日」の活用支援 ・自己の生活を振り返ったり、今後の見通しをもたせるために、効果的に活用できるようにはたらきかけ ○授業での「ふりかえり」と「次のめあて」 ・授業ごと、単元ごとの個別の「ふりかえり」と今後に向けての「次のめあて」を表出するための工夫 ②生徒が自ら行動するしかけを充実させることで、主体的に行動する力、言語や情報を使いこなす力が高まる。 ○「自己決定できる環境づくり」「バックワードデザインの指導・評価計画」をもとに作成した「授業づくりプランシート」をベースとした授業実践と職員研修の充実 ③生徒の主体的な活動の推進 ○生徒会活動や学級活動、朝の時間等における生徒の主体的な活動の推進	D めざす子どもの姿 1 自他を尊重し、他者と協働できる生徒 2 自律し、学び続ける生徒 3 目的意識をもって粘り強く行動する生徒
	F 検証方法 ・学力調査(国・県) ・アンケートの活用と分析 ・授業研究会 ・教員相互授業参観 ・生徒による授業のふりかえり	
	G 研究計画 1、2学期 ・「新しい1日」の活用法を紹介 ・朝の時間を活用した学力向上への取り組み ・朝の時間を活用した学年集会の充実 ・1人1授業の実施 3学期 取り組むについてのふりかえり	